

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	公園緑地課	職	課長	氏名	猿田 秀一
評価者	組織	公園緑地課	職	次長兼課長	氏名	猿田 秀一

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	兼六園周辺文化の森の保全と整備	兼六園・金沢城公園の入園者数	千人	5,300 (H31)	5,472 (H27)	5,178 (H28)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1	兼六園・金沢城公園の利活用の推進	千人	5,300 (H31)	5,472 (H27)	5,178 (H28)	城と庭の魅力発信事業費	県民	16,128	16,128	B	継続

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 城と庭の魅力発信事業費	事業開始年度 H14	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	都市公園法

作組	織	公園緑地課			
成職	氏名	金沢城・兼六園周辺整備G 課長補佐 日出平洋一			
者	電話番号	076 - 225 - 1772 内線 5263			

1 事業目的  
「学習」「案内」「もてなし」の三本柱により金沢城と兼六園の魅力を国内外に発信する。

2 事業概要  
平成28年度は新たにキャッシュレス決済の対応、夜の魅力アップとして玉泉院丸での生演奏、兼六園の夜間開園の拡大など、新幹線開業後に増加する国内外観光客へのサービスの向上に努める。

【学習事業】  
・継続 「城と庭の探求講座」全10回開催

【案内事業】  
・継続 玉泉院丸案内所にボランティアガイドを常駐  
・〃 重要文化財「石川門」「三十間長屋」の特別公開(土日) 年間 107日  
・〃 重要文化財「金沢城土蔵(鶴丸倉庫)」の特別公開(行楽期)年間 26日  
・〃 ボランティアガイド、外国人向けガイドの常駐(全日)

【もてなし事業】  
・継続 春 菓子百工展(金沢城)  
・〃 夏 ホテル観賞会(兼六園)  
・〃 秋 中秋の名月観賞会(ミニコンサート)(金沢城・兼六園)  
・〃 秋 本丸園地の夜間開園(11月の四季物語実施日)  
・〃 冬 新丸広場での凧揚げ体験、鷹匠による放鷹術の実演など  
・〃 四季 四季の花巡りツアー 6回

施策・課題の状況						
施策	兼六園周辺文化の森の保全と整備				評価	B
課題	兼六園・金沢城公園の利活用の推進					
	指標	兼六園・金沢城公園入園者数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成31年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	5,300	2,660	2,761	3,404	5,472	5,178

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	10,273	10,000	21,505	16,128	16,128
	決算	10,273	10,000	17,376	16,128	16,128
一般	予算					
財源	決算					
事業費累計		50,323	60,323	77,699	93,827	109,955

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B 左記の評価の理由 金沢城公園は、兼六園とともに本県のシンボルであり、また、県民共有の財産である。その価値と魅力を広く発信し、理解し、堪能していただくため、「学習」「案内」「もてなし」を柱とする「城と庭」の一体的な利用促進を図っており、入園者数は目標に近い値を維持している。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 金沢城、兼六園の多様な魅力をこれまで以上に国内外に発信するため、ホームページの更新、玉泉院丸庭園のライトアップ、もてなし事業の充実など、さらなる魅力アップを図ってまいりたい。